

人権教育の「ツボ」

7月は、同和問題啓発強調月間です。

同和対策審議会が「同和問題の早急な解決こそ国の責務であり同時に国民的課題である。」と答申してから50年あまりが経ちます。この機会に、同和問題について、自身と向き合ってみましょう。

Q: なぜ、福岡県は、7月が同和問題啓発強調月間なのですか？

A: 本県では、「同和対策特別措置法」が施行された7月（昭和44年）を、「同和問題啓発強調月間」として、昭和56年度から毎年取り組んでいます。そして、同和問題解決に向けた街頭啓発や講演会の実施、マスメディアを通じた様々な啓発事業を実施しています。

Q: 同和問題とは、どのような問題ですか？

A: 同和問題とは、「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれる特定の地域の出身であることを理由に、結婚や就職などにおいて不利な扱いや差別的言動を受けるといふ、日本固有の重大で深刻な人権問題であり、国民全体として解決すべき課題です。

Q: 同和問題の解決に向けた課題は？

A: 「福岡県人権教育・啓発基本指針（改定）平成30年3月」には、
○県内では、
・差別落書き等が継続して発生
・インターネット上では同和地区の所在地情報の流布や差別的な書き込みなどの問題が深刻化
○「県民意識調査結果（平成28年）」からは、
・差別意識は、徐々に解決に向けて進んでいること
・依然として同和問題に対する無関心・無理解層の存在
・同和問題の解決に向けた方策として「寝た子を起こすな論」が根強いこと（回答者の4人に一人）
・若年層を中心とした同和問題に関する意識が希薄であること
が解決に向けた課題として挙げられています。

Q: 同和問題の解決に向けて一人一人がもつべき意識や態度は、どのようなものですか？

A: 部落差別は許されないものであるという認識をもち、部落差別のない社会を実現しようとする事です。このことは、「部落差別の解消の推進に関する法律」の基本理念です。

Q: 教職員として、同和問題について学ぶための教材はありますか？

A: 福岡県教育委員会が作成している人権教育学習教材「かがやき」「あおぞら」「あおぞら2」には、学習教材の他に、指導資料や参考資料も添付されています。

同和問題は、「誰か」のことじゃない 私のこと!

参考：福岡県人権教育・啓発基本指針（改定）平成30年3月
北九州市政だより（1221号）平成26年7月1日

研修コラム

「自尊感情を培うために」

人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]では、次のように述べられています。

人権教育とは、人権に関する知的理解だけでなく、[自分の大切さとともに他の大切さを認めること]ができるような人権感覚の育成を目指すものであること、人権感覚の育成のためには、**自尊感情を培う**とともに、共感能力や想像力、人間関係調整力を育むことが求められている…以下略…

つまり、児童生徒の人権感覚を育成するためには、その基礎として自尊感情を培う必要があるのです。では、自尊感情を培うには、いったいどうすればよいのでしょうか？
自尊感情は、『他者から大切にされている』『他者から認められている』と感じられる体験を重ねることで培われると言われています。このことを、福岡県人権教育研究所事務長の谷口研二氏の講話資料を参考にまとめてみました。

I love me. 感情 【自尊感情】

好きなところも嫌いなところも含めて、私は大切な存在だと思う気持ち

私は私のありのままを大切にするという自分への信頼感 などの感情

You love me. 体験

他者から大切にされている

他者に関心を持たれている

他者に話をきいてもらえる

他者から認められ、信じられている

他者からあるがまま受け容れられている

などと感じられる体験

さて、私たち教職員は、学校生活の中で児童生徒にどのような『You love me. 体験』をさせることができるでしょうか？例えば、次のような場面での働きかけが考えられます。

《児童生徒が『You love me. 体験』するための教職員の働きかけの例》

登校時

教職員から名前を呼んで、一言添えてあいさつする



〇〇さん、おはようございます。3校時の体育のバレーボール、楽しみですね。

先生は私を気にかけてくれて、関心をもって聞いている。うれしいな。



授業中

一人一人の学び方や発言が大切にされる雰囲気をつくる



〇〇さんの言いたかったことは、～ということかな？なるほど、そう考えたんだね。

先生は私の考えを大切にしてくれるので、安心して発表できるな。



下校時

子どもたちへのプラスメッセージで一日を締めくくる



今日は友達を大切にできる“こんな”言葉や“あんな”行動がありましたね。

今日一日、たくさんがんばれたし、認められたな。明日も仲良くすごしたいな。



自尊感情は、『You love me. 体験』を教職員が意識して生み出すことで、より高めることができます。目の前の子どもたちが、できるだけ多くの『You love me. 体験』を味わえるように、日頃から意識して教育活動の工夫・改善にあたっていききたいですね。

あいのて

27号

令和3年7月13日

I note.....



発行 京築教育事務所人権・同和教育室

はじめに

「誰か」のことじゃない。

上記の言葉は、法務省の啓発活動重点目標「人権啓発キャッチコピー」です。（公財）人権教育啓発推進センター発行の人権教育啓発情報誌「アイユ（令和3年4月15日）」には、その趣旨を次のように記しています。



新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染者や医療従事者、これらの方々の家族などに対する偏見や差別が、重大な社会問題になっています。また、インターネット上での誹謗中傷や差別を助長するような情報の発信は、同じような書き込みを次々と誘発し、取り返しのつかない重大な人権侵害につながるものであって、決してあってはならないものです。さらに、いじめや虐待等の子どもの人権問題、ハンセン病問題、ハンセン病元患者とその家族などに対する偏見や差別など様々な人権問題が後を絶ちません。

（中略）まず、**互いの違いを認め合い、相手の気持ちを考え、思いやることのできる心**をはぐくむことが大切です。

（中略）人権問題を誰かの問題ではなく、**自分の問題として捉え、人権を尊重することの大切さについて考えていける**よう、（法務省は）この目標を掲げています。※下線及び（ ）は人権・同和教育室が加筆

人権教育は、力をつける教育です。

上記の下線部のような力を児童生徒に育むことが社会から求められています。そのような力を学校の教育活動の中で着実に育てていくために、少しでもお役に立てる情報を、本年度も掲載していきます。

「I note あいのて(27号)」のメニュー

◇人権教育のツボ「同和問題啓発強調月間って」

◇研修コラム

第1回人権教育指導者養成連続講座の講話より

◇人権教育の視点に立った授業づくりのポイント

人権教育の視点に立った授業づくり ～人権教育が育成を目指す「資質・能力」を育むために～

はじめに

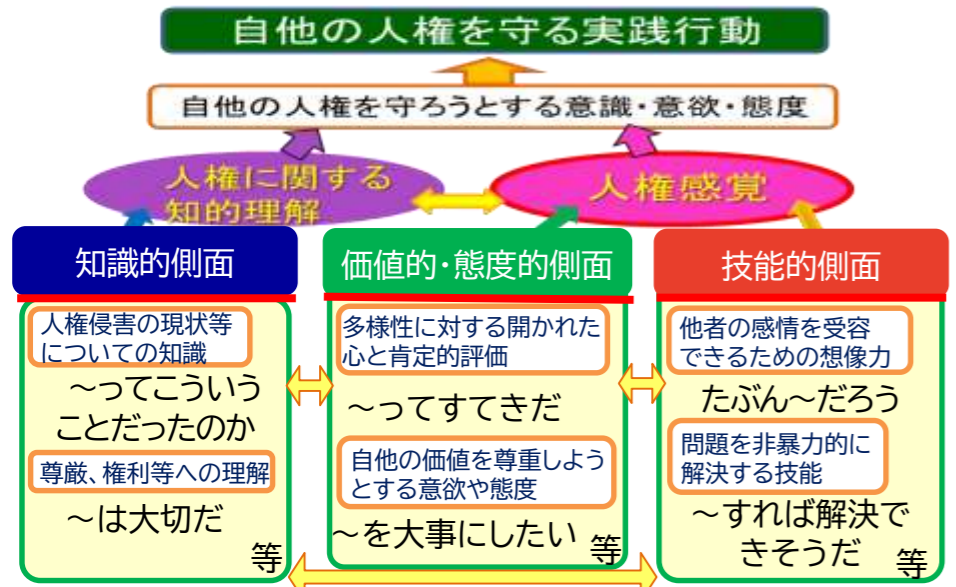
Q: 人権教育とは、どのような教育なのでしょう?

人権教育は子どもたちに「力を付ける教育」なのです。

人権教育は「(前略)意識、態度、実践的な行動力など様々な資質・能力を育成し、発展させることを目指す総合的な教育」です。

参考: 福岡県教育委員会「人権教育研修会資料集(H31.4)」P6

人権教育が育成を目指す資質・能力



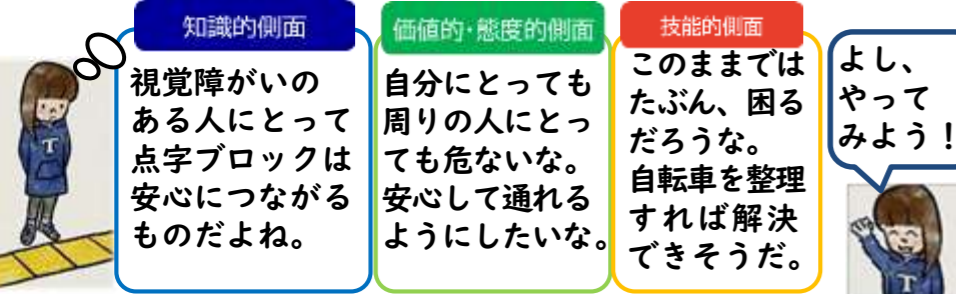
人権教育が育成を目指す資質・能力は、「～は大切だ」という知的理解と、「～したいな」、「～すれば解決できそうだ」といった人権感覚であり、これが、**自他の人権を守る実践行動の基礎となる力**なのです。

Q: 人権教育が目指す資質・能力が備わった子どもってどんな姿なのでしょう。

人権教育が目指す力が備わった子どもの事例

点字ブロックをふさぐように止められた自転車に気づき、その自転車を移動させた方が良く考え、行動に移した子どもの姿から

参考: 福岡県教育センター「子どもの人権に関する知的理解を固め人権感覚を養う授業づくり」(H27)



このような資質・能力を育むには、**学校の教育活動全体**をとって**意図的・計画的に指導していく**ことが大切です。今号は特に、人権感覚の育成をねらいとした授業づくりについて紹介します。

人権感覚を育成する授業づくり3つのポイント

ポイント1
教科等のねらいとともに、**人権教育を通して育てたい「資質・能力」の具体化**を

ポイント2
「資質・能力」の育成を図る**主な手立ての位置付け**(交流活動、表現活動、教師の肯定的評価)

やってみよう! 人権感覚育成の授業づくりの手順

- ① 子どもの実態等を把握する。
 ① 自分の学年の人権教育の指導の重点と、子どもの実態を照らし合わせ、ズレや隔たりから育てたい資質・能力を明確にします。
 ② 子どもの実態把握をする際は、子どもの行動等の現象や結果だけで判断したり決めつけたりするのではなく、**その背景や原因等を含め多面的に捉えることが大切です。**
- ② 教科等の本時の目標設定とともに「資質・能力」育成の目標を設定する。
 ① 本時で育成する**資質・能力を具体的に**設定します。
 ② **育てたい資質・能力を設定する際は、人権感覚につながる諸要素を分類した表**(福岡県教育委員会「人権教育研修会資料集(H31.4)」P31, 32)を参考にしてください。
- ③ 「資質・能力」を育成する手立てを位置付け、教科等の目標との整合性を持たせる。
 ① 手立ては、本時の**教科等の目標達成の手立て(活動)の中から**主たる手立て(活動)を設定します。
 ② 主たる手立て(活動)を設定する際は、「参加」「協力」「体験」ができる**学習になるよう意識して**設定します。
 ③ 主たる手立て(活動)を設定するとともに、**教師が資質・能力の育成につながる子どもの姿等を適切に価値付けることが大切です。**
- ④ 授業実践、ふりかえり
 ① 資質・能力の検証方法については、小単元、単元、年間等を通じての事前事後アンケートによる比較検証等が考えられます。
 ② 教科等のねらいと、**人権教育で育てたい資質・能力を意識して授業**しよう。

参考: 福岡県教育委員会「人権教育研修会資料集(H31.4)」P30

授業展開例

最後に、人権感覚育成の目標や活動を位置付けた**授業展開例**をもとに**普段の授業をイメージ**してみましょう。

小学校6年生国語科「表現の工夫をとらえて読み、それを生かして書こう」『鳥獣戯画』を読むの授業場面から

【概要】本時は、「『鳥獣戯画』を読む」の文章構成や表現等の工夫を生かして、それぞれが「解説文」としてまとめたものを交流します。

【育てたい「資質・能力」】(例)
○ 自己についての肯定的態度の育成

- 1 前時の学習を想起し、本時学習のめあてを確認する。
 ① 教科等の本時の目標設定とともに「資質・能力」育成の目標を設定する。
 ② 本時では「自分の解説文への感想から、自分の表現のよさに気付く子ども」を育てるぞ。
- 2 交流のしかたを確認する。
 ① 自分が書いた解説文をグループで交流する。
 ※よいところを付箋で伝える。
 【交流の流れ】
 <発表者>
 ① 自分の解説文を発表する。
 ② 付箋をもらい、確認する。
 <聞く人>
 ① 友達の発表を聴く。
 ② 付箋に工夫できていたところを書く。
 ③ 発表者に付箋に書いたことを伝え、付箋を渡す。
 Aさんの解説文は、筆者の表現の工夫を分かりやすく伝えているよね。
 Bさんから私の解説文が分かりやすいと書いてもらえてうれしかったな。
 よし!この姿を取り上げて価値付けをしよう。
- 3 自分が書いた解説文をグループで交流する。
 ① 自分が自分の表現のよさに気付くための手立ては、交流活動だったな。子どもがよさに気付いている姿をみつけて、価値付けをしよう。
 ② 価値付けの際は「友だちから『いいね』をもらって、自分の表現のよさに気が付くことができましたね。」と伝えよう。
- 4 全体で交流し学習のまとめをする。
 グループ交流で自信を持った子が多いな。よし、全体交流でも、それぞれの表現のよさを共有していこう。
- 5 ふりかえりをする。
 ① 自分の表現のよさを伝えてもらって、自信がもてたよ。自分の成長がわかって嬉しいな。
 ② ふりかえりのワークシートに自分の表現のよさへの気づきを書かせて、机間指導で価値付けをしよう。
 私からもワークシートに表現のよさを伝えるコメントを書こう。一人一人によさを実感させたいな。

参考: 福岡県教育委員会「人権教育指導者用手引きⅡ(H24.3)」P13